

136 国勢調査で分かる昼夜間人口 令和4年12月15日掲載

皆さんは昼間人口と夜間人口という言葉を知っていますか？ これは文字通り、ある地域の昼間の人口と夜の人口のことです。一般的に人口とは住んでいる場所での人口、つまり夜間人口です。昼間人口は、夜間人口から通勤や通学のためにその地域から出ていく人口（流出人口）を引いて、入ってくる人口（流入人口）を足した人口を言います。観光や買い物などの目的で移動している人は含んでいません。

夜間人口 100 人当たりの昼間人口の比率を昼夜間人口比率と言い、100 を超えると流出より流入の人口が多いということになります。

令和 2 年国勢調査の結果によると、全国でこの比率が最も高いのは東京都で 119.2% です。東京都に近い埼玉県や千葉県、神奈川県では、東京の会社や学校に通っている人が多いことから 90% を切っています。

山口県の昼間人口は 133 万 7 千人、夜間人口は 134 万 2 千人で、昼夜間人口比率は 99.6% です。隣県の広島県と福岡県からの流入が約 1 万 4 千人に対し、山口県からの流出が約 1 万 9 千人で、流出の方が約 5 千人多いことが影響しています。

県内市町はどうなっているのでしょうか。比率が最も高いのは美祢市 104.6% でした。ほかに 100 を超えているのは、柳井市、周南市、周防大島町、山口市、下松市でした。

皆さんのお住まいの市町ではどうでしょうか。詳しくは総務省統計局のホームページから国勢調査の結果をご覧ください。

山口県の昼夜間人口比率

都道府県 /市町名	昼夜間人口 比率(%)	昼間人口 (人)	夜間人口 (人)
山口県	99.6	1,337,227	1,342,059
美祢市	104.6	24,321	23,247
柳井市	104.0	32,034	30,799
周南市	103.9	142,885	137,540
周防大島町	102.9	15,234	14,798
山口市	101.5	196,926	193,966
下松市	100.6	56,232	55,887

出典:総務省「令和2年国勢調査」不詳補完値